

備前市事務事業評価表

事務事業名	旧片上鉄道沿線地域活性化事業	コード	01-01-12-04
		担当課・係	企画課 公共交通対策係
		担当者	難波 巧
事業実施期間	平成10年～	電話	0869-64-1871
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	公共交通	

事業について	
目的 (何のために)	片上鉄道の廃止により、児童、生徒、高齢者等の交通手段を持たない人が、通勤・通学・通院・買物等のために移動する手段を確保する。また、バスの運行により旧片上鉄道沿線地域の活性化を図る。
対象 (誰・何を対象に)	交通弱者（児童・生徒、高齢者、マイカーを持たない人）、沿線地域住民
内容	片上鉄道沿線地域活性化対策協議会を設立し、片上から柵原間の路線維持のため路線バス事業者に赤字相当額を補助する。この路線は、県補助事業の対象路線となっている。構成市町は、2市2町がそれを負担している。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
系統数	4 系統	4 系統	
運行回数(年間)	6,404 便	6,352 便	
運行距離(年間)	244,792 km	242,833 km	
運行維持負担金(備前市)	5,750,690 円	5,504,510 円	
運行維持負担金(全体)	29,784,000 円	28,509,000 円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	5,761	国庫補助金等	5,510	直接事業費	5,510	国庫補助金等				
	人件費	1,080	受益者負担	1,252	人件費	1,252	受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	6,841	一般財源等	6,841	合計	6,762	一般財源等	6,762	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.09 人	0.14 人	
結果指標			
結果指標名	系統数	系統数	
結果指標量	4	4	
単位	系統	系統	
対前年比		100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	6,841,000 円	6,762,000 円	
単位当たりコスト	1,710,250 円	1,690,500 円	
結果指標名	運行回数(年間)	運行回数(年間)	
結果指標量	6,404	6,352	
単位	回	回	
対前年比		99.19%	0.00%
活動にかかるコスト	6,841,000 円	6,762,000 円	
単位当たりコスト	1,068 円	1,065 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	当路線を移動手段として利用した人数・回数(延べ人数)		
成果指標名	年間利用者数	式又は説明	実績報告による
	17年度	18年度	
成果指標量	74,392	59,325	
対前年比		79.75%	0.00%
到達目標値	60,000	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等：)	妥当性評価<A~E>	C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	モータリゼーションの進展、少子化、人口の減少などにより、利用者は減少しているが、路線バスは、交通弱者(児童・生徒、高齢者、マイカーを持たない人など)にとっては、必要不可欠の交通手段であり、また、市民の生活交通となる公共交通機関である。路線バスを維持するため、バス事業者への運行赤字に対する補助金交付は妥当である。また、この路線は、旧片上鉄道の沿線地域を運行しており、鉄道廃止後の地域の活性化を図る意味でも目的は、妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	効率性評価<A~E>	C
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	課題認識	高校生を中心に、朝夕の便で利用者が多いと思われる。また、路線延長が長い場合、車両の効率が悪いと考えられる。今後、高校等の廃校もあり、利用者の実態を把握して見直しを図る必要がある。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	有効性評価<A~E>	
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	利用者減少しているものの、年間5万人以上の利用者があることから、効果は認められる。実態を把握しての便数や停留所等の検討が必要である。
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	市民参画度	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	説明	引き続き、現路線の運行維持を維持しながら、利用者等の意見を取り入れ、便数減ダイヤ改正用必要な改善を実施している。	
目標値	結果指標量	4	結果指標量	4,500
	成果指標量	60,000		

総合評価	この路線は、本市と和気町、赤磐市、美咲町を結ぶ唯一の公共交通機関であり、沿線地域の活性化を促進する意味でも重要な役割を担っている。しかし、年々利用者が減少していることから、今後は、実態を調査して、事業者とともに見直し必要がある。	評価区分<A~E>	D
------	--	-----------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成19年度で廃止・完了
--------------	--	--------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	調査等により実態を把握し、利用実態に応じた便数と車両台数を検討する。	平成20年度	補助金の削減
有効性	調査等により実態を把握し、利用実態に応じた便数やルートを検討する。	平成20年度	利用者の減少防止